



中国四国地域の和食文化ネットワーク

メールマガジン 第 55 号

配信日：2023 年 10 月 27 日



例年、野生の毒きのこによる食中毒が発生しています。

食用きのこ間違えられやすい毒きのこは、見た目が似ているだけでなく、食用きのこと同じ場所に生えていることがあり、見分けることが困難な場合があります。少しでも疑わしいと感じた野生きのこは採らないようにご注意ください。

農林水産省 HP にも掲載してありますので、ご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/rinsanbutsu/yaseikinoko/yaseikinoko.html>

【目次】

1. 広島消費者協会「郷土料理『煮ごめ』の継承に関わるシンポジウム」の開催
2. 農林水産省「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」として新たに 2 地域を認定
3. 文化庁「100 年フード」及び「食文化ミュージアム」の公募を開始！
4. 和食会議「普及・啓発部会 講演会・皇居外苑散策」実施報告

1. 広島消費者協会「郷土料理『煮ごめ』の継承に関わるシンポジウム」の開催

広島県西部地域には「煮ごめ」と呼ばれる小豆や野菜を使った郷土料理があります。この「煮ごめ」を通して郷土における食文化を次世代に継承していくことを考えていくため、以下のとおりシンポジウムを開催します。

どなたでも無料で参加できます。ぜひご参加ください。

日時：令和 5 年 11 月 19 日（日曜日）13 時 00 分～15 時 00 分

場所：サテライトキャンパスひろしま 5 階大講義室（広島市中区大手町一丁目 5 番 3 号）

主催：広島県消費者団体連絡協議会、（公社）広島消費者協会、JA 広島市

内容：広島文化学園短期大学食物栄養学科教授 村田 美穂子氏の基調講演及び
学生、消費者団体等による発表

定員：100 名（要申込、先着順）

申込締切：令和 5 年 11 月 18 日（土曜日）まで

詳細・お申込みはこちら↓

広島消費者協会ホームページ（<http://wwwhiroscho.web.fc2.com/>）

2. 農林水産省「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」として新たに 2 地域を認定

農林水産省は、インバウンド需要を農山漁村に呼び込むこと目的に創設した「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN（セイバージャパン））」について、今年度は新たに 2 地域を認定しました。

●認定地域について

令和 5 年 5 月から 7 月にかけて取組計画の募集を行い、「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」有識者会議委員からの助言を経たのち、農林水産大臣から国土交通大臣へ意見照会を行った上で、特に優れた取組として認められる以下の 2 地域を「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」として認定しました。

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/231026.html>

都道府県	地域	実行組織
静岡県	富士山麓・伊豆半島地域	富士山麓・伊豆半島食の魅力推進協議会
福岡県	八女市	一般財団法人 FM 八女

●「農泊 食文化海外発信地域（SAVOR JAPAN）」について

農泊を推進している地域のうち、特に食と食文化の魅力を伝えることでインバウンド誘致を図る優れた地域の取組を農林水産大臣が認定し、その地域の食の魅力を「SAVOR JAPAN」ブランドとして海外へ一体的かつ強力に PR することで、インバウンド需要を農山漁村に呼び込もうとするものです。

3. 文化庁「100 年フード」及び「食文化ミュージアム」の公募を開始！

文化庁は、今年も、地域で受け継がれ愛されている食文化を掘り起こし、100 年続く食文化として継承することを目指す「100 年フード」の取組を進めるため、参加してくださる地方自治体、協議会、民間団体等を広く募集します。

また、食文化への学びや体験の提供に取り組む博物館、道の駅、食の体験・情報発信施設等に関する情報を集約し、Web 上の仮想ミュージアムである「食文化ミュージアム」において一体的に発信するため、掲載施設を募集します。

募集締切：令和 5 年 11 月 17 日（金曜日）

応募 URL

・100 年フード

<https://foodculture2021.go.jp/hyakunenfood/>

・食文化ミュージアム

<https://foodculture2021.go.jp/about/foodculturemuseum/>

4. 和食会議「普及・啓発部会 講演会・皇居外苑散策」実施報告

10月6日（金曜日）、（一社）和食文化国民会議は、皇居外苑楠公レストハウスで普及・啓発部会講演会・皇居外苑散策（「江戸に触れる。江戸文化（料理）を味わう」を三部構成で実施しました。

第一部：大久保洋子先生の講演会（「江戸の食文化から現代の食生活を考える」）

第二部：「江戸エコ行楽重」のご紹介と屋外・松芝生地での喫食

第三部：ボランティアガイド皆様の案内による皇居外苑散策

詳しくは、こちらをご覧ください。↓

和食会議ホームページ（<https://washokujapan.jp/info/info-20231012/>）



中国四国地域の和食文化ネットワークの事務局



窓 口：中国四国農政局 経営・事業支援部 食品企業課

住 所：岡山県岡山市北区下石井 1-4-1

電 話：(086)224-4511【内線 2152／2171】

【会員の皆様へのお知らせ】

メールマガジン「中国四国地域の和食文化ネットワーク」では、食文化の保護・継承活動に関する情報を発信しております。当メールマガジンを通じて、会員様主催のイベント等のご案内等の発信をしませんか。

発信・共有したい情報等がございましたら、お寄せください。

農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>